

ご当地のマドンナが
案内する最旬の外遊びガイド

日本全県 アウトドア巡り

その31

栃木県



童心に帰って 昆虫に夢中!

(栃木県・茂木町)

数多くのレーサーたちがしのぎを削る
レース場「ツインリンクもてぎ」には、
もうひとつの顔がある。それが今回訪
れた「ハローウッズ」。もとの地形を活
かした広大な里山で、昆虫採集やキャン
プなどを楽しめる場所なのだ。



ハローウッズの敷地面積は東京ドーム約9個分! 水生昆虫を観察できる「ミズスマシの沢」や、ハッチョウトンボが生息する棚田など見所たくさん。ムササビも生息中。

「この森にはスズメバチもいるし、蛇もたくさん住んでます」
ハローウッズの入り口で合流した今回の先生役である奥山さんが、にこやかに笑いながら、いきなり怖いことをいう……。マドンナ役の恵愛さんの笑顔も心なしかひきつり気味? 「でも、スズメバチも蛇たちも刺激しなければ大丈夫。例えばスズメバチを見つけても騒いだりしない、大きく動かない、この2点に注意していれば平気」歩き始めてすぐに、樹液が出ている木を発見。残念ながらカブトムシはいないけど、そこには美しいアオカナブンとオオムラサキの姿があった。「わーきれい!」と恵愛さんが近づくと、突如ブーンという音と共にヒメスズメバチが飛来。でもここはいわれたとおり、慌てず騒がず静かに観察していれば、コチラ



ハローウッズ
奥山英治さん

小誌でも活躍するナチュラルリスト。特に昆虫に対する知識は尋常じゃないのだ。現在はハローウッズ内の水生生物研究室の責任者。著書に「虫と遊ぶ12か月」(デコ干)がある。



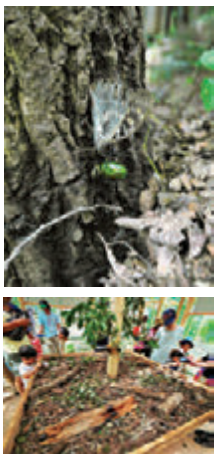
今月のマドンナ
ツインリンクもてぎエンジェル
悠木恵愛さん

今年の4月からツインリンクもてぎエンジェルとして、PR活動や、イベントでのMCなどを務める。栃木出身で実家はイチゴ農家さん。でもイチゴは好きじゃないらしい……。



デイヤッと蹴っ飛ばすと
クワガタが樹上からポロリ

木にダメージを与えない程度に蹴るのが奥山先生流の採り方。これは危険(鳥など)を察知すると、落下して逃げようとする虫の特徴を利用したもの。いとも簡単にノコギリクワガタのオスをゲット!



適度に間伐された森の中は、光が差し明るい空間。総延長3kmの遊歩道を歩くだけでも気持ち良い。写真左上はアオカナブンとオオムラサキ。カブトムシが放し飼いにしている子供に大人気のエリアもある。触りたい放題。

広大な森には
さまざまな生き物の気配

野生生物研究所に愛らしいムササビの寝顔!



敷地内に2つある野生生物研究所では、さまざまな展示物も。集箱に入って眠るムササビの姿が見られるライブカメラもあり、本物のイノシシの毛皮などにも触れるのだ。



森の生態系を体感できる「迷宮森殿 ITADA KI」。5階層の立体迷路で、スタンプを集めながら最上階を目指す。途中ではリアルな生き物オブジェたちが道を阻む! 子供たちに大人気のアトラクションなのだ。



一発でクリアできるかな?
森がテーマの巨大迷路

正しく知れば危なくない!
ヤマカガシと遭遇



いま話題(?)のヤマカガシも生息中。奥山先生いわく「ヤマカガシは毒牙が奥のほうに付いているので、口に指を突っ込んだりしない限り、毒牙には届かない」んだとか。

に向かってくることもないし、その美しい流線型の姿にちよつと感動。ただ怖いだけだったスズメバチも、こうやってじっくり観察してみると、別の側面が見えてくるのだ。
森を歩いていると道の脇に倒木が並んでいることに気付く。「これは間伐した木を並べていて、そうするとそこに多種多様な生き物が棲み着くんですよ」

間伐した木を集めて塔状にしたもの。ここが小さな甲虫たちの住処になり、それを目当てに鳥たちも集まってくる。年月が経つと虫や微生物が分解して、土に還り新たな養分になる。



食物連鎖をつながす
美しい「生命の塔」



ツインリンクもてぎ内の「森のレストラン」は、地元産の有機栽培の野菜を使った料理が楽しめる。ハンバーグランチはボリューム満点で肉汁したたる良いお味。

地元食材を使った
森のレストラン



と奥山先生が説明してくれる。この森はできるだけ自然な状態を目指しているのだ。
「ただ安全な場所にはしたくないから、人間の手を入れすぎたくない。自然の状態の森に触れて、大人も子供も本来の豊かさを体感してほしい」と奥山さん。「あーっ! カブトムシ!」
そういつて駆け出す可愛さんはすっかり子供の顔だ。

里山の自然をのんびり楽しむなら 長時間滞在するのがオススメ



「このリピーターは、長い時間滞在して、のんびり過ごしている人が多いですよ」という奥山先生。たしかに、豊かな自然溢れるハローウッズを駆け足で回るのはもったいない。ゆっくりと腰を据えて、1日滞在したくなる気持ちの良い場所だ。いたるところに屋根付きのベンチもあるし、ピクニックセットを広げてブレイクしながら森林浴も楽しみましょ。

新色



ワンアクションで開閉ができるモデル。軽量&スリムタイプなので持ち運びも便利なのだ。保温・保冷の両方に対応。

真空断熱ケータイマグ／
(右) JNS-451 0.45ℓ 6000円、(左) JNS-351 0.35ℓ 5500円



オートロック機能で持ち運び時にも安心



小さなバッグにケータイマグとランチボックスを入れていけば、里山の美しい空気の中で、簡単にピクニックが楽しめるのだ。



毎日の弁当からピクニックまで 中子付きランチボックス



中子(なかご)にはフタが付いているので味移りしにくく、ツمام付きで取り出しやすい。各フタを外せば電子レンジで温め直すこともできる。フレッシュランチボックス／DJM-570 0.57ℓ オープン価格